



# 機能の概要

## [請求書の例外率] KPI ウィジェット (BNA-188)

コンテンツオーナー: Chris Chase  
一般提供予定: 2023 年第 1 四半期

# 説明: [請求書の例外率] KPI ウィジェット

## 機能の説明

- [請求書の例外率] KPI ウィジェットでは、サプライヤが顧客の経理部門に送信した請求書のうち、何らかの種類のエラーがあり、APによって却下された請求書の割合が測定されます。
- サプライヤには前四半期、前月、過去 12 カ月間の選択肢があります。
- サプライヤは対象の顧客を選択することができます。

## 主なメリット

- [請求書の例外率] は、SAP Business Network および SAP の購買アプリを使用して得られたビジネス上の成果を示すことができる多くの KPI のうちの 1 つです。
- サプライヤは、顧客ごとの例外率を明確に把握することができます。
- サプライヤは、四半期ごとのビジネスレビューで顧客と実績についての対話を作り出すことで、履行プロセスの改善、コストの削減、および関係の強化に連携して取り組むことができます。

対象ユーザー:  
サプライヤ

イネーブルメントモデル:  
ロータッチ

対象ソリューション:  
SAP Business Network



## ユーザーの事例

**ユーザーの事例:** 会社のファイナスマネージャと、顧客と交渉を行う販売マネージャが、会社の請求書の請求書例外率を把握する必要があります。

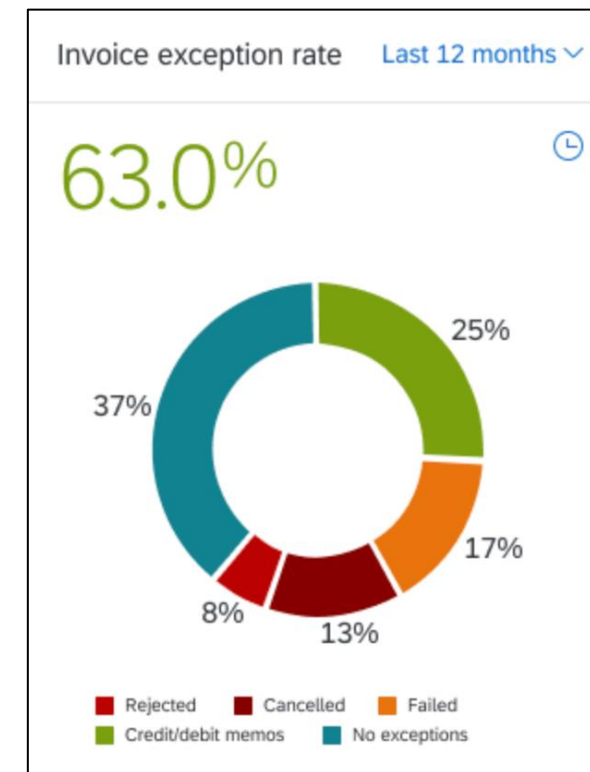
請求書に多くの例外がある場合、顧客に確認する必要がある問題が多数存在する可能性があります。請求書に例外が含まれている場合、支払いが予定どおり行われず、最終的な収益に影響を及ぼす例外に対応するためのコストが発生するリスクがあります。

請求書の例外率が低い顧客には以下のような特徴があります。

- 請求書の提出に関する標準のプロセスおよび形式
- Ariba Network 上で自動化インターフェイスを使用して設定するシンプルなビジネスルール
- 紙の請求書の提出を削減する方法の導入
- 注文書の使用をサポートする奨励金
- 監視および測定を含む内部の実績の重視

会社では、顧客のプロセス改善目標をサポートすることが重視されています。

**KPI の定義:** [請求書の例外率] では、サプライヤが経理部門に送信した請求書のうち、何らかの種類のエラーがあり、AP によって却下された請求書の割合が測定されます。





# 前提条件、制限事項、注意事項

## 前提条件

- なし

## 制限事項

- Bronze レベル以上の登録が必要です。
- このウィジェットを表示するには、[送信トレイ] または [請求書の作成] の権限を持っている必要があります。
- このウィジェットには、テストアカウントからの請求書データは含まれません。
- このウィジェットでデータを表示するには、顧客が請求書データを交換し、請求書状況の更新をロードする必要があります。

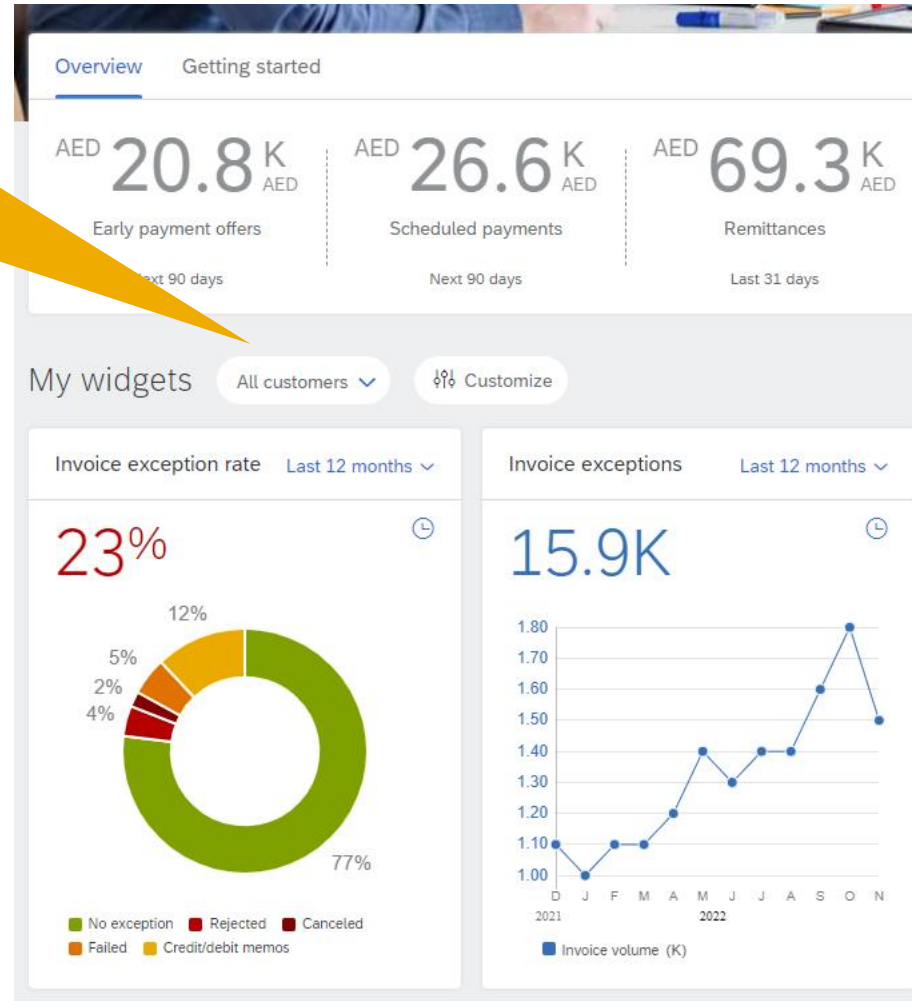
## 注意事項

- Ariba Network KPI のフレームワークには、不良データ、テストデータ、または KPI の計算に干渉する可能性のあるデータ異常値を識別して除外するインテリジェンスが含まれます。そのため、KPI 計算では、Ariba Network に一覧表示される請求書と完全に照合されないことがあります。

# 機能の詳細



顧客選択リストを使用して、Ariba Network 上の取引関係に基づいて顧客を選択することができます。



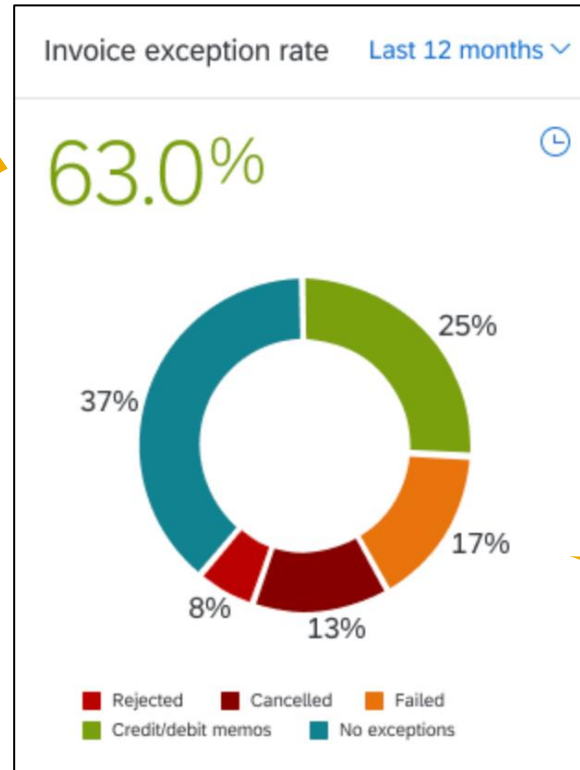
すべてのサプライヤは、SAP Business Network のホームページで、[請求書の例外率] および [請求書例外] KPI ウィジェットを利用できます。

# 機能の詳細



Ariba Network では、状況が [却下済み]、[キャンセル済み]、または [処理エラー] の請求書の数と、デビットメモとクレジットメモの数に基づいて、請求書の例外率が計算されます。該当する取引数の合計を、顧客に送信された請求書の数で割ることで算出されます。

このウィジェットを表示するには、[送信トレイ] または [請求書の作成] の権限を持っている必要があります。



日付範囲選択リスト: 過去 12 カ月間、前四半期、前月

最終データ更新のタイムスタンプ

折れ線グラフに、サイクル時間 (日数) ごとの支払予定の数が表示されます。



フォローをお願いします。



## [www.sap.com/contactsap](http://www.sap.com/contactsap)

© 2022 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。特に、SAP SE 又はその関連会社は、本書若しくは関連の提示物に記載される業務を遂行する、又はそこに記述される機能を開発若しくはリリースする義務を負いません。本書、関連プレゼンテーション、および SAP SE またはその関連会社の方針および予定されている将来の開発、製品、またはプラットフォームの方向性および機能は、すべて変更される可能性があり、SAP SE またはその関連会社は随時、理由の如何を問わずに事前の予告なく変更できるものとします。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、若しくは機能を提供するという確約、約束、又は法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。商標に関する情報および表示の詳細については、[www.sap.com/trademark](http://www.sap.com/trademark) をご覧ください。